



OnTime[®] GROUP CALENDAR

for Microsoft(Ver.4.1-)

インストールマニュアル

クイック & ステップ バイ ステップ

OnTime Group Calendar Direct Shop

2021/07/01



目次 インストールマニュアル

- OnTime for Microsoft について p. 3
- OnTimeとExchangeの準備 p. 7
- OnTimeサーバーの為に「SQL Server」のインストール p. 9
- OnTimeサーバーのインストール p. 1 4
- OnTime 管理センター初期設定 p. 1 8



OnTime for Microsoft について

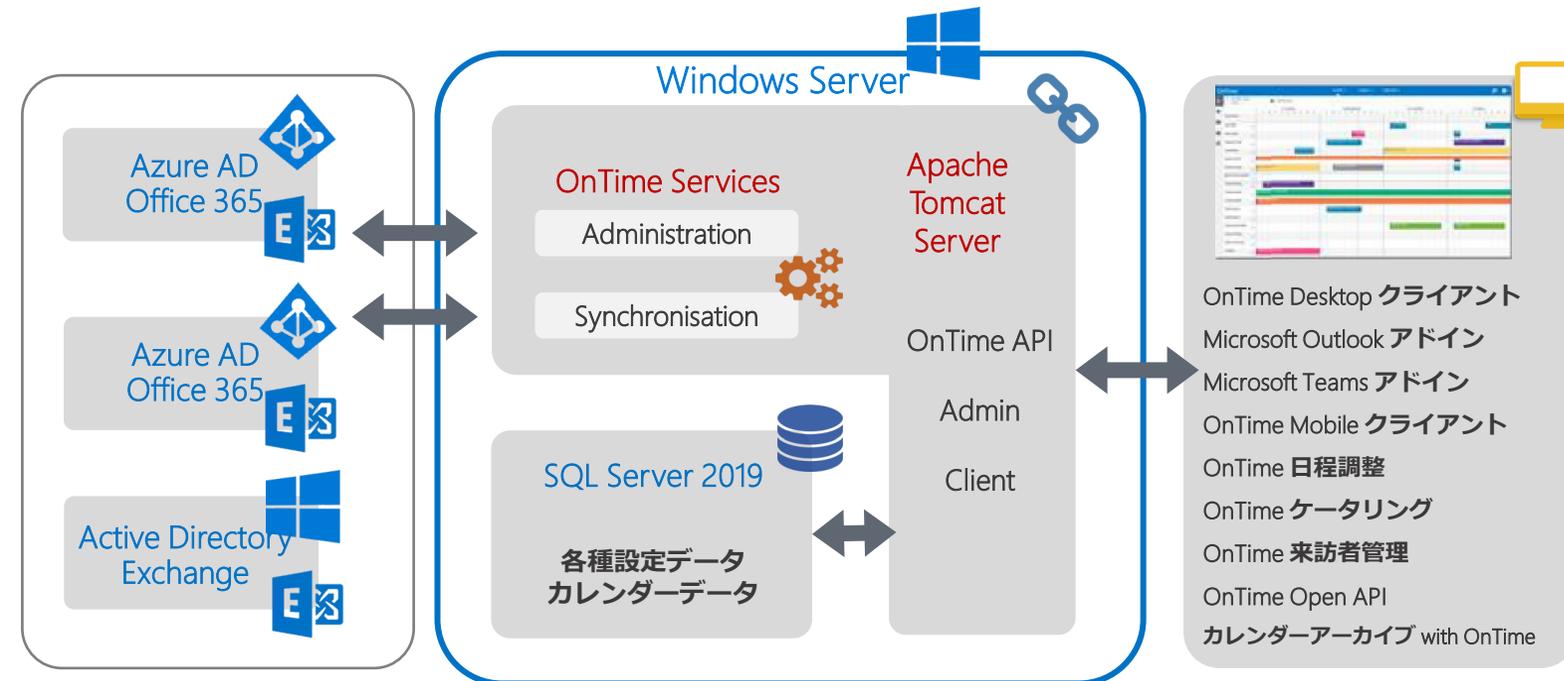
OnTime for Microsoft について 1 - 構成



- OnTime for Microsoft は Microsoft SQLサーバーとApache Tomcatサーバー（OnTimeサービスを含む）で動作します。
 - Microsoft SQLサーバー 各種設定や予定データのリアルタイムキャッシュを保持。
 - Apache Tomcatサーバー ユーザー及び管理画面及びExchangeのデータ同期を処理。
- 構成するMicrosoft SQL Server 2019 Express エディション、Apache Tomcat Serverはバンドルしています。ただし5000ライセンス以上などエンタープライズ用途の場合はMicrosoft SQL Server は別のエディションを推薦します。

- 各ソフトウェアのバージョン等について
 - Tomcat バンドルされたバージョンのみ
 - Windows Server & SQL Server 下部リンク先のシステム要件をご確認ください
- メール認証やForm認証を含む複数の認証方法を選択できます。
- 使用TCP/IPポート
管理センター :8080 クライアント :80/443
- 必要とするスペックは日々の予定の作成更新数などご利用状況によって変わります。
- システム要件（OnTime占有分）
 - 2GHz以上のIntel 互換プロセッサ
 - 4GB以上のハードディスク
 - 2GB以上のメモリ
- その他詳細は以下リンク先のシステム要件をご確認ください。

<https://ontimesuite.jp/forms/requirementsms/>



OnTime for Microsoft について 2 - 設置



- OnTimeサーバーの配置場所は、各種クラウド環境でもオンプレ環境でもご利用いただけます。ご利用用途に応じてご検討/ご相談ください。
 - 各種クラウド環境に配備
外出先での利用/外部ネットワークからの接続利用が多い場合はクラウドに設置してください。
例えばOnTime for Microsoft Teamsを外部から利用したい場合はクラウド環境への設置を推薦します。
 - オンプレ環境に配備
インターネットゲートウェイの帯域が狭い場合はキャッシュやプロキシのように設置できます。
OnTimeサーバーをオンプレ環境に設置する場合で外部ネットワークからも接続する必要がある場合はVPN、リバースプロキシ等による接続可能な環境に設置してください。
 - その他にも接続ルートやプロキシの利用等、ネットワーク環境に応じてOnTimeサーバーの配置先をご検討ください。

OnTime for Microsoft について 3 - 設置



- OnTimeを導入するWindowsサーバーはActive Directoryのメンバーサーバーを推薦します。
 - あくまでもセキュリティの観点からADのメンバーサーバーとしての構成を推薦しています。
 - Exchangeとの同期は別途EWS接続の設定を行うので同じテナントである必要はありません。
 - Azure環境に新規で構築する場合はAzureAD DSをご利用いただけます。AWS等についても同等です。
 - WebSSOを利用する場合はそのADへの参加は必須です。
※WebSSOはWindows端末にユーザーがログインした情報をベースとしてSSOを実現するOnTime認証方式です。
 - どうしてもAD環境を準備できない場合はWORKGROUPサーバーとしてOnTimeサーバーを構築することも可能です。
 - ワークグループ名は「WORKGROUP」「WORKGROUP01」の様な簡易な名称ではなく組織を特定できる命名をしてください。
 - セキュリティの観点からワークグループに所属するサーバーはOnTimeサーバーだけにしてください。
 - 詳細はFAQの <https://www3.ontimesuite.jp/userdomain/> を参照ください。

OnTime for Microsoft について 4 - Teams



- OnTime for Microsoft Teamsは標準ライセンスだけでご利用いただける機能です。
 - Microsoft365(Exchange Online)との接続の認証方式に先進認証(OAuth)で接続した場合は、OnTime Desktopクライアントでも会議作成時に「Teams会議」を選択できるようになります。
 - Microsoft Teamsのチーム/チャンネルのタブに表示してチャンネルメンバーのスケジュールを表示できます。
- Microsoft Teamsのチーム/チャンネルのタブに表示するためにはMicrosoftの仕様のため以下が必要です。
 1. OnTimeサーバーは証明書を利用したhttps接続を利用できる必要があります。
 2. OnTimeサーバーはTeamsからリダイレクト先として接続できる場所に存在する必要があります。
 3. OnTimeサーバーで使用する証明書はVer.4.1.0からパブリックな認証局の発行した証明書をご利用ください。
- OnTime for Microsoft Teams設定の詳細は「[Microsoft Teams連携設定マニュアル](#)」を参照して設定してください。

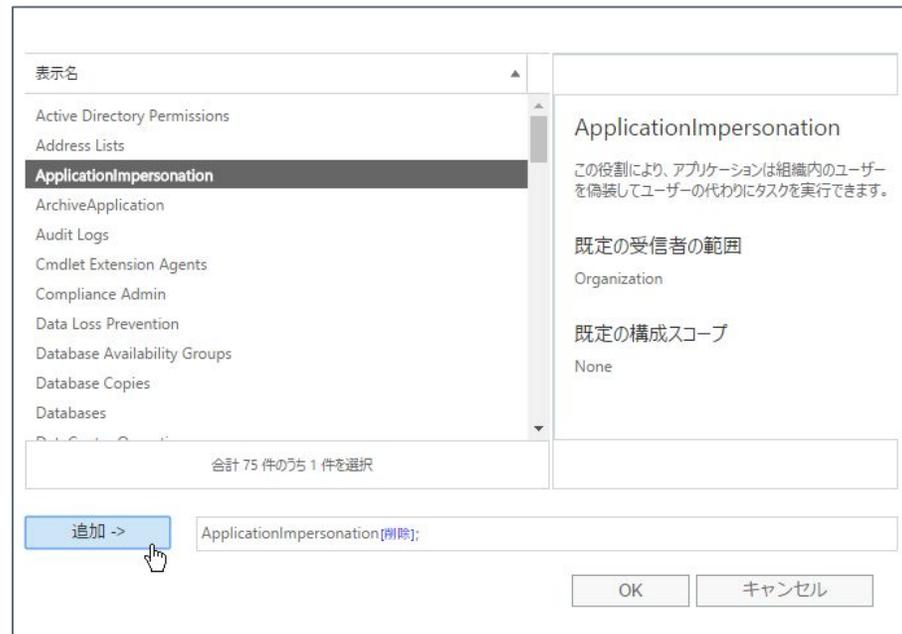


OnTimeとExchangeの準備

Exchange側の設定と準備



- 偽装ユーザー(Impersonation User)について
 - OnTime for MicrosoftをExchange OnlineやオンプレのExchangeに接続する際に、全ユーザーをImpersonation(日本語で演技や偽装)してスケジュールデータの入出力を行う1つのアカウントを指します。詳細は以下のURLをご参照ください。
<https://www3.ontimesuite.jp/impersonation/>

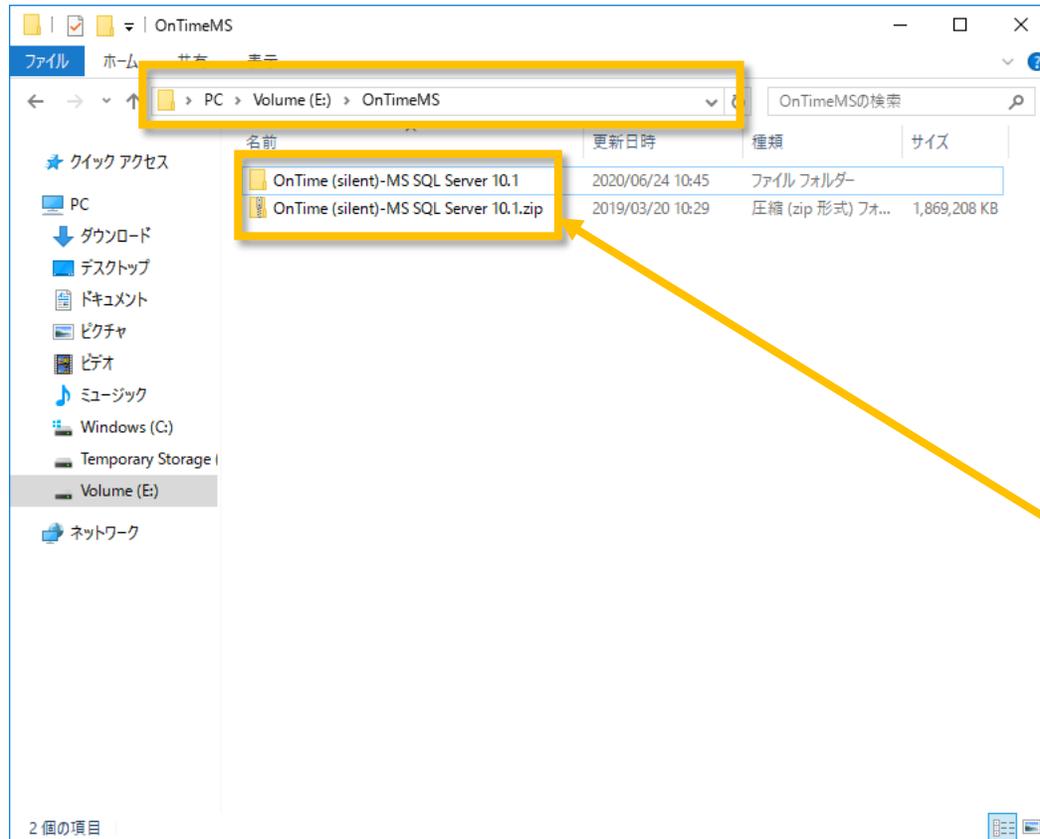


- 同期対象について
 - OnTime for MicrosoftをExchange OnlineやオンプレのExchangeと同期させる際に対象となるユーザー、会議室、備品を選択する必要があります。以下のどちらかを選択できます。
 - グループメールアドレスでの登録
 - OnTimeでは配布グループ、メールが有効なセキュリティグループにて指定できます。
 - 作成する際、「このグループをアドレス一覧に表示しない」のチェックは必ず外してください。
 - OnTimeではExchangeから取得できる一般的な属性を利用できません。
 - LDAPでの登録
 - LDAPもしくはLDAPsによるADもしくはAzureADからの指定。
 - Directoryからの直接抽出なのでカスタム属性やフリガナ属性などもOnTimeに取り込むことができます。
 - AzureADにLDAPs接続する場合はAzureAD DSが必須です。
- ※詳細は「**ドメイン設定マニュアル**」をご参照ください



OnTimeサーバーの為に 「SQL Server」のインストール

OnTime用SQL Serverサイレントインストーラーのダウンロードと展開



- OnTimeではバックエンドのデータストアとしてSQL Serverを使用します。
- インストール作業はドメイン管理者でログインして行います。ワークグループサーバーの場合もローカル管理者で実施してください。
- 簡易にインストールできるようにサイレントインストール用スクリプトファイルを準備しています。以下のリンクからダウンロードして展開してご利用ください。展開場所はログインしたユーザーに依存しないフォルダで行います。(例 E:¥OnTime)
<http://file.ontimesuite.com/SQLExpress>
- 自社で準備したSQLを利用する場合は以下リンク先のSQLセットアップマニュアルを参照してください。
<https://ontimesuite.jp/data/pdf/OnTime-SQL-Server-install-Manual-200403.pdf>

(参考)SQL Serverをインストールするドライブの変更



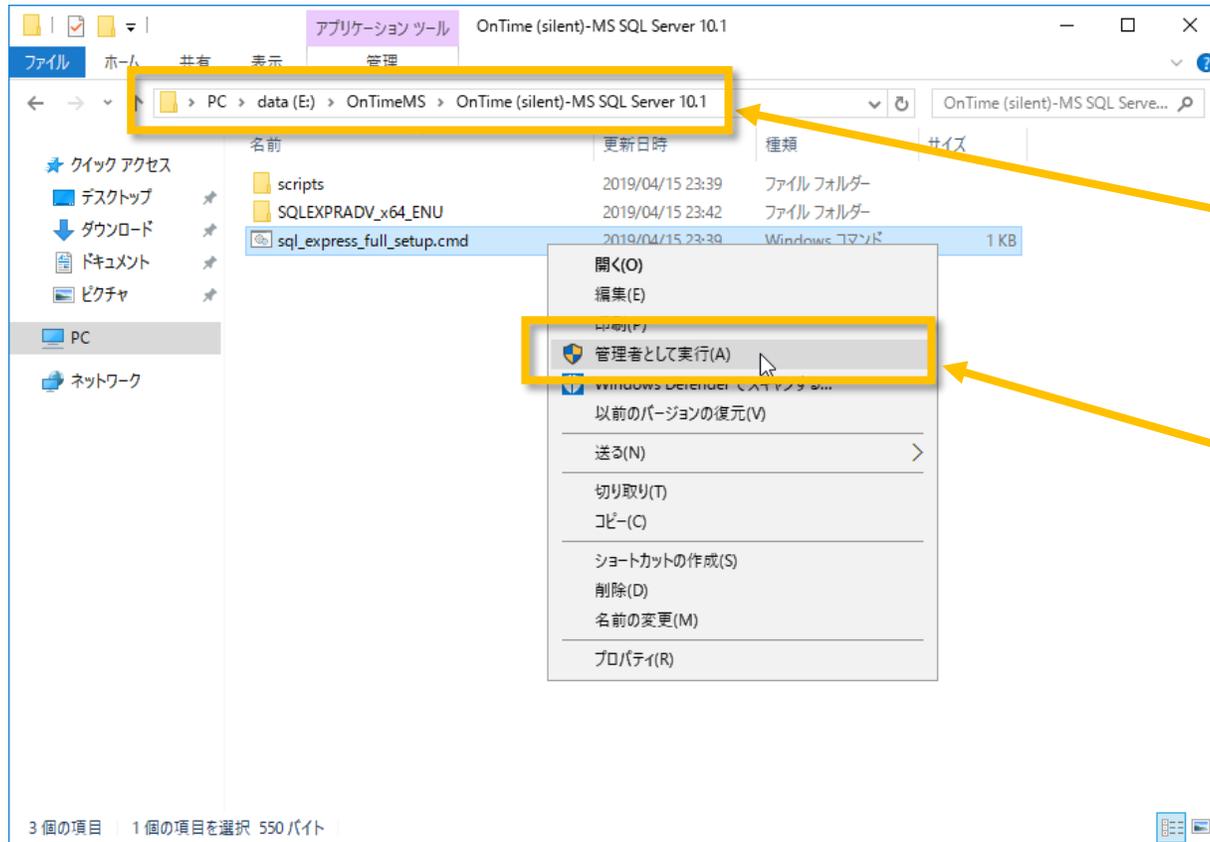
File Explorer window showing the 'scripts' folder in 'OnTime (silent)-MS SQL Server 10.1'. The 'ConfigurationFile.ini' file is highlighted, and a context menu is open over it. A yellow arrow points from the file to the list of instructions on the right.

Text editor window showing the contents of 'ConfigurationFile.ini' with several lines highlighted in yellow:

```
; Specify the root installation directory for shared components. This directory  
INSTALLSHAREDDIR="C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server"  
; Specify the root installation directory for the WOW64 shared components. This directory  
INSTALLSHAREDWOWDIR="C:¥Program Files (x86)¥Microsoft SQL Server"  
; Specify the Instance ID for the SQL Server features you have specified. SQL Server Express uses the instance ID "SQLEXPRESS"  
INSTANCEID="SQLEXPRESS"  
; TelemetryUserNameConfigDescription  
SQLTELSVCACCT="NT Service¥SQLTELEMETRY¥SQLEXPRESS"  
; TelemetryStartupConfigDescription  
SQLTELSVCSTARTUPTYPE="Automatic"  
; Specify the installation directory.  
INSTANCEDIR="C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server"
```

- ScriptフォルダにはSQL Serverをサイレントインストールできるように各種cmdファイル、sqlファイルが準備されています。
- インストール先がAzure VMの場合はデータディスクはE:ドライブ以降を推薦されていますのでインストール先を変更する場合はパラメーターが記載されているコンフィギュレーションファイルの内容を変更する必要があります。
- インストールフォルダを変更したい場合はコンフィギュレーションファイルを変更してください。
- scriptフォルダを開きます。
- "ConfigurationFile.ini"ファイルをメモ帳などのテキストエディタで開きます。
- エディタの検索機能を使用して3つの"C:¥"の箇所を"E:¥"等のご希望のドライブに変更します。

OnTime用SQL Serverのインストール

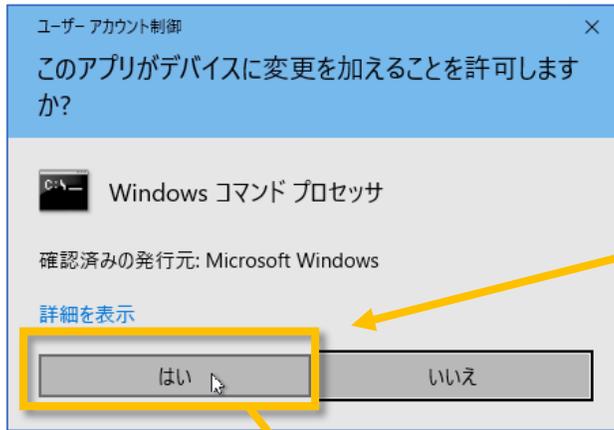


- SQL Serverのインストールは10分程度掛かるので先に実施しておきます。

エクスプローラーを開き、展開したフォルダに移動します。
展開したフォルダ¥OnTime (silent)-MS SQL Server 10.1

“sql_express_full_setup.cmd”を選択します。
マウス右ボタンメニュー「管理者として実行」を選択します。

SQL Serverのインストール画面



インストールの確認画面(UAC画面)が開きますので「はい」をクリックします。



- スクリプトが実行されている画面が出てきますので閉じずにそのままお待ちください。インストールが完了するとコマンドプロンプトは自動的に閉じますのでそのまま置いておきます。
- インストールは通常5分から10分程度で完了します。



OnTimeサーバーのインストール

OnTimeサーバーのインストール



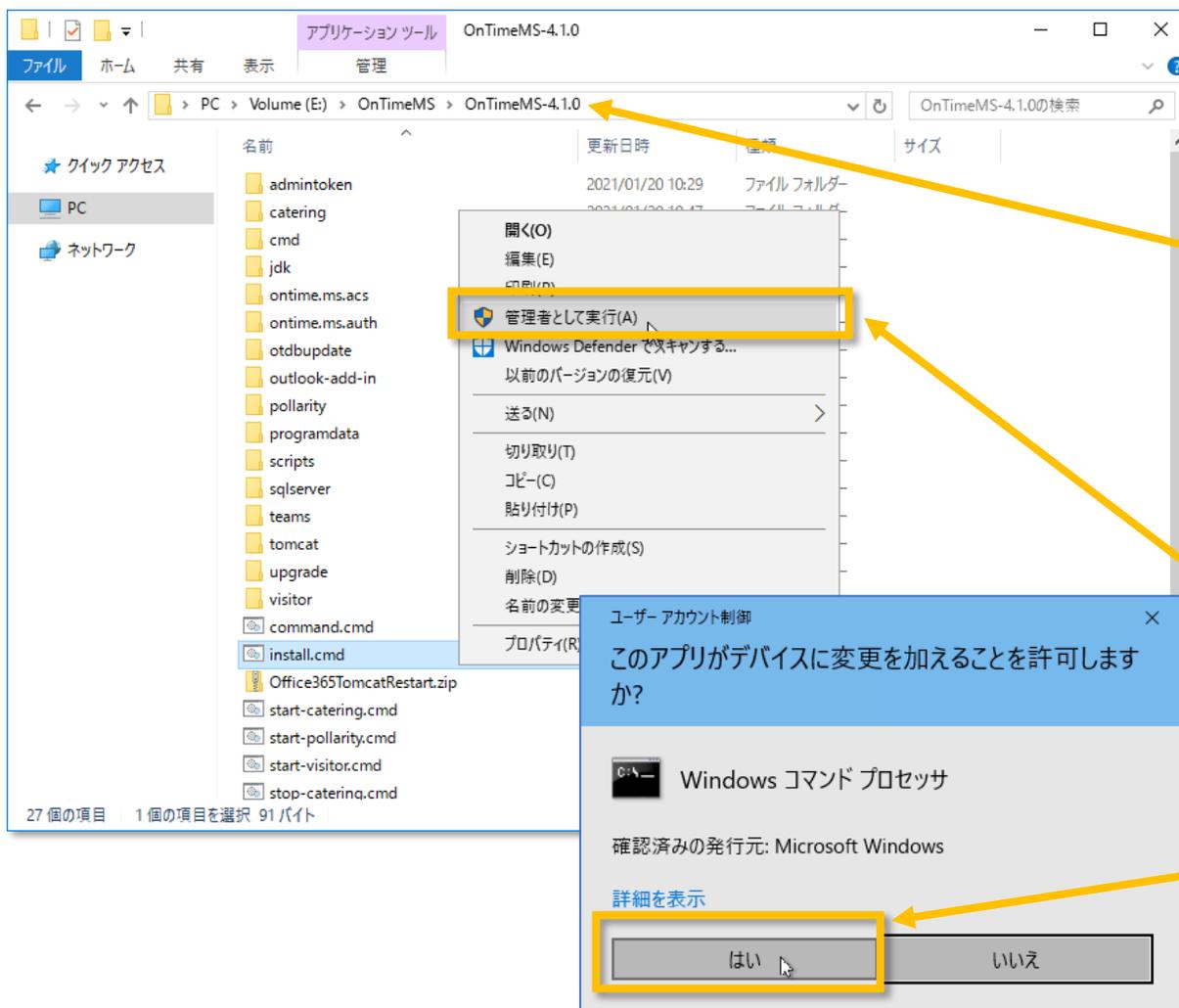
- 先ほど実行したSQL Serverのサイレントインストールが完了していることを確認します。

以下のリンクからプログラムをダウンロードします。
<https://ontimesuite.jp/forms/downloads/>

ダウンロードが完了すれば展開します。展開場所はログインしたユーザーに依存しないフォルダで行います。
(例 E:¥OnTime)
展開後は展開したフォルダに移動します。
(例 E:¥OnTime¥OnTimeMS-x.x.x)

“install.cmd”ファイルを選択しマウス右ボタンメニューから管理者として実行します。

インストールの確認画面(UAC画面)が開きますので「はい」をクリックします。



約 1 分程度のOnTimeインストール画面 1



```
C:\windows\System32\cmd.exe
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.1.0>install.cmd
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.1.0>pushd "E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.1.0\scripts"
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.1.0\scripts>PowerShell -ExecutionPolicy Bypass
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.1.0\scripts>pushd "E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.1.0\scripts"
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.1.0\scripts>pushd "E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.1.0\scripts"
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.1.0\cmd>set ERROR_LEVEL=0
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.1.0\cmd>set JAVA_HOME=
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.1.0\cmd>set CATALINA_HOME=
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.1.0\cmd>echo Installation Started in: [2021/01/22 9:51:48.24]
Installation Started in: [2021/01/22 9:51:48.24]
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.1.0\cmd>set ERROR_LEVEL=0
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.1.0\cmd>set ERROR_LEVEL=0
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.1.0\cmd>SET ontime_db_name=[ontimems]
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.1.0\cmd>sqlcmd /h-1 -i ".\sqlserver\set_syslogins.sql"
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.1.0\cmd>CALL set_ontime_login.cmd
```

```
管理者: C:\windows\System32\cmd.exe
Migrating schema [dbo] to version 5 - widen culture column from 16 to 64
Migrating schema [dbo] to version 6 - add extended properties table
Migrating schema [dbo] to version 7 - nullify all ad entity uSNChanged
Migrating schema [dbo] to version 8 - nullify all prev and ontime user exdi
Migrating schema [dbo] to version 9 - add up dn deletedat to ontime entity
Migrating schema [dbo] to version 10 - populate ontime entity with up dn
Migrating schema [dbo] to version 11 - populate ontime entity with group u
Migrating schema [dbo] to version 12 - recreate extended properties table
Migrating schema [dbo] to version 13 - add nominal ad groups table
Migrating schema [dbo] to version 14 - add roles table
Migrating schema [dbo] to version 15 - add ews permissions table
Migrating schema [dbo] to version 16 - add ad user default capacity contrai
Migrating schema [dbo] to version 17 - create shared groups
Migrating schema [dbo] to version 18 - increase number of sync threads
Migrating schema [dbo] to version 19 - create catering enabled group table
Migrating schema [dbo] to version 20 - add may collide with existing to ad
Migrating schema [dbo] to version 21 - add api user table
Migrating schema [dbo] to version 22 - add api user application id column
Migrating schema [dbo] to version 23 - reset default auth urls
Successfully applied 22 migrations to schema [dbo] (execution time 00:00.73)
3月 11, 2020 11:00:15 午前 dk.intravision.securetokens.PropertyReaderWriter
情報: Property file was not found, will return empty properties
3月 11, 2020 11:00:15 午前 dk.intravision.securetokens.PropertyReaderWriter
情報: Properties were changed, will update them
Input your new administrator password (and it cannot be Innovation):
Please type your administrator password again to confirm:
```

```
管理者: C:\windows\System32\cmd.exe
erNameAsACE=false;sendStringParametersAsUnicode=true;selectMethod=direct
ng=adaptive;queryTimeout=-1;packetSize=8000;multiSubnetFailover=false;lock
Timeout=-1;lastUpdateCount=true;encrypt=false;disableStatementPooling=
e=polarity;columnEncryptionSetting=Disabled;applicationName=Microsoft
QL Server;applicationIntent=readwrite; (Microsoft SQL Server 14.0)
WARNING: Microsoft SQL Server 14.0 does not support setting the schema
ession. Default schema will NOT be changed to dbo !
Successfully validated 10 migrations (execution time 00:00.143s)
Executing SQL callback: beforeMigrate [non-transactional]
WARNING: DB: データベース 'polarity' の 344 ページ、ファイル 1 のファイ
を処理しました。 (SQL State: S0001 - Error Code: 4035)
WARNING: DB: データベース 'polarity' の 5 ページ、ファイル 1 のファイ
を処理しました。 (SQL State: S0001 - Error Code: 4035)
WARNING: DB: BACKUP DATABASE により 349 ページが 0.251 秒間で正常に処理
7 MB/秒)。 (SQL State: S0001 - Error Code: 3014)
Creating Schema History table: [polarity].[dbo].[flwyway_schema_history]
Current version of schema [dbo]: << Empty Schema >>
Migrating schema [dbo] to version 1 - create all tables release 1
Migrating schema [dbo] to version 2 - temporary add email date
Migrating schema [dbo] to version 3 - add dates to polls and users
Migrating schema [dbo] to version 4 - add timezone to poll
Migrating schema [dbo] to version 5 - add user email to failed call
Migrating schema [dbo] to version 6 - add casesensitivity to placeholder
Migrating schema [dbo] to version 7 - set owner not null
Migrating schema [dbo] to version 8 - add config table
Migrating schema [dbo] to version 9 - add custom user emails
Migrating schema [dbo] to version 10 - non null created updated
Successfully applied 10 migrations to schema [dbo] (execution time 00:0
Do you want to enable polarity? (y/n) :
y
```

- コマンドプロンプトが開きインストールバッチが走り出します。

- 以下のメッセージが表示されたらパスワードを指定してエンターキーを押してください。
(初回のみ)
「Input your new administrator ...」
- 「Please type your administrator ...」のメッセージが表示されたら、再度同じパスワードを指定してエンターキーを押してください。

- 以下のメッセージが表示されたら y とエンターキーを押してください。
「Do you want to enable polarity? (y/n) :」

約 1 分程度のOnTimeインストール画面 2



```
管理者: C:\windows\System32\cmd.exe
reOnFirstPreparedStatementCall=false;fips=false;socketTimeout=0;authentic
ied;authenticationScheme=nativeAuthentication;xopenStates=false;sendTi
trustStoreType=JKS;trustServerCertificate=false;TransparentNetworkIPReso
erNameAsACE=false;sendStringParametersAsUnicode=true;selectMethod=direct
ng=adaptive;queryTimeout=-1;packetSize=8000;multiSubnetFailover=false
ckTimeout=-1;lastUpdateCount=true;encrypt=false;disableStatementPoolin
e=catering;columnEncryptionSetting=Disabled;applicationName=Microsoft
L Server;applicationIntent=readwrite;(Microsoft SQL Server 14.0)
WARNING: Microsoft SQL Server 14.0 does not support setting the schema fo
ession. Default schema will NOT be changed to dbo !
Successfully validated 7 migrations (execution time 00:00.176s)
Executing SQL callback: beforeMigrate [non-transactional]
WARNING: DB: データベース 'catering' の 408 ページ、ファイル 1 のファイ
処理しました。(SQL State: S0001 - Error Code: 4035)
WARNING: DB: データベース 'catering' の 4 ページ、ファイル 1 のファイ
を処理しました。(SQL State: S0001 - Error Code: 4035)
WARNING: DB: BACKUP DATABASE により 412 ページが 0.374 秒間で正常に処理
MB/秒)。(SQL State: S0001 - Error Code: 3014)
Creating Schema History table: [catering].[dbo].[flyway_schema_history]
Current version of schema [dbo]: << Empty Schema >>
Migrating schema [dbo] to version 1 - create catering tables
Migrating schema [dbo] to version 2 - add locations to menu items
Migrating schema [dbo] to version 3 - add served in meeting rooms for
Migrating schema [dbo] to version 4 - add order for custom fields and
Migrating schema [dbo] to version 5 - add foreign key for menu item
Migrating schema [dbo] to version 6 - add watermark pk
Migrating schema [dbo] to version 7 - add disabled for location
Successfully applied 7 migrations to schema [dbo] (execution time 00:0
Do you want to enable catering? (y/n) :
y
```



```
管理者: C:\windows\System32\cmd.exe
.. \webapps\cateringManager\web\lanreg\region.sv.json
59 個のファイルをコピーしました
Catering was successfully started
Changed database context to 'visitor'.
Msg 15023, Level 16, State 1, Server DEMOMST\SQLEXPRESS, Line 2
User, group, or role 'NT AUTHORITY\SYSTEM' already exists in the current da
Changed database context to 'visitor'.
User BUILTIN\Administrators already exists
Flyway Community Edition 0-SNAPSHOT by Boxfuse
Database: jdbc:sqlserver://localhost:1433;sslProtocol=TLS;jaasConfiguration
0;serverPreparedStatementDiscardThreshold=10;enablePrepareOnFirstPreparedS
authentication=NotSpecified;authenticationScheme=nativeAuthentication;xope
reType=JKS;trustServerCertificate=false;TransparentNetworkIPResolution=true
Unicode=true;selectMethod=direct;responseBuffering=adaptive;queryTimeout=-
ginTimeout=15;lockTimeout=-1;lastUpdateCount=true;encrypt=false;disableStat
EncryptionSetting=Disabled;applicationName=Microsoft JDBC Driver for SQL S
SQL Server 13.0)
WARNING: Microsoft SQL Server 13.0 does not support setting the schema for
be changed to dbo !
Successfully validated 5 migrations (execution time 00:00.164s)
Executing SQL callback: beforeMigrate [non-transactional]
WARNING: DB: Processed 528 pages for database 'visitor', file 'visitor' on
WARNING: DB: Processed 2 pages for database 'visitor', file 'visitor_log' o
5)
WARNING: DB: BACKUP DATABASE successfully processed 530 pages in 0.327 sec
r Code: 3014)
Current version of schema [dbo]: 5
Schema [dbo] is up to date. No migration necessary.
Do you want to enable visitor? (y/n) :
y
```



```
管理者: C:\windows\System32\cmd.exe
Do you want to enable visitor? (y/n) :
y
.. \webapps\visitor#\visitor#\10.0.war
.. \webapps\visitorManager\visitorAll.js
.. \webapps\visitorManager\fonts\NotoSans-Bold.ttf
.. \webapps\visitorManager\fonts\NotoSans-Regular.ttf
.. \webapps\visitorManager\images\favicon.ico
.. \webapps\visitorManager\web\lanreg\langreglist.json
.. \webapps\visitorManager\web\lanreg\language.da.json
.. \webapps\visitorManager\web\lanreg\language.de.json
.. \webapps\visitorManager\web\lanreg\language.en.json
.. \webapps\visitorManager\web\lanreg\language.es.json
.. \webapps\visitorManager\web\lanreg\language.fr.json
.. \webapps\visitorManager\web\lanreg\language.it.json
.. \webapps\visitorManager\web\lanreg\language.ja.json
.. \webapps\visitorManager\web\lanreg\language.no.json
.. \webapps\visitorManager\web\lanreg\language.sv.json
.. \webapps\visitorManager\web\lanreg\region.da.json
.. \webapps\visitorManager\web\lanreg\region.de.json
.. \webapps\visitorManager\web\lanreg\region.en.json
.. \webapps\visitorManager\web\lanreg\region.en_us.json
.. \webapps\visitorManager\web\lanreg\region.es.json
.. \webapps\visitorManager\web\lanreg\region.fr.json
.. \webapps\visitorManager\web\lanreg\region.it.json
.. \webapps\visitorManager\web\lanreg\region.ja_jp.json
.. \webapps\visitorManager\web\lanreg\region.ja_jp_su.json
.. \webapps\visitorManager\web\lanreg\region.no.json
.. \webapps\visitorManager\web\lanreg\region.sv.json
26 個のファイルをコピーしました
Visitor was successfully started
```

- 以下のメッセージが表示されたら y と エンターキーを押してください。
「Do you want to enable catering? (y/n) :」

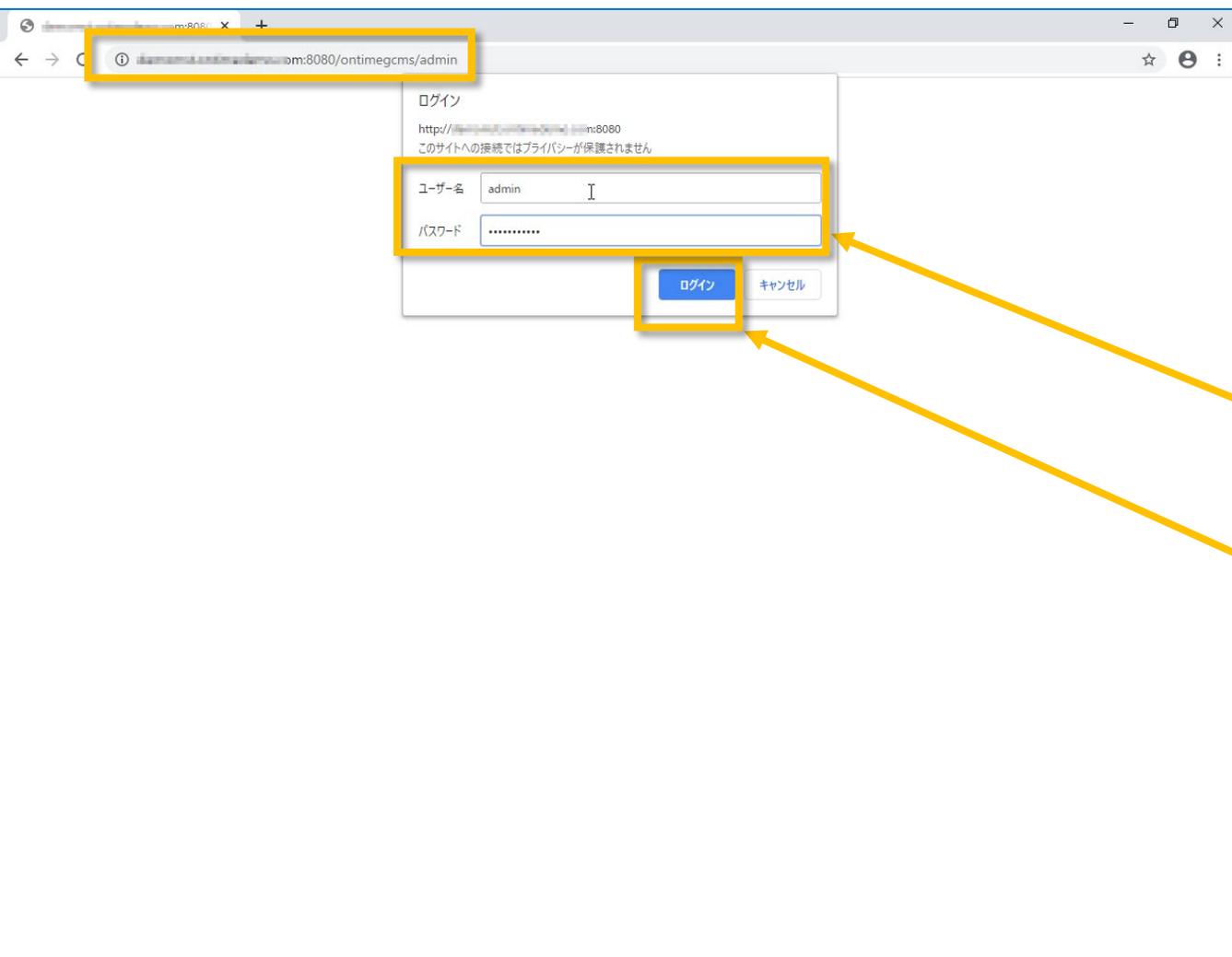
- 以下のメッセージが表示されたら y と エンターキーを押してください。
「Do you want to enable visitor? (y/n) :」

- 「Visitor was successfully started」の文字が表示されると、コマンドプロンプトが消え、処理が完了します。



OnTime Admin Center (OnTime 管理センター) 初期設定

OnTime 管理センターを開く



- インストールが正常に完了していると以下のURLでOnTime管理センターを開けます。
HOSTNAMEは実際にインストールしたホスト名を指定、またポート8080の指定を必ずつけてください。
 - <http://HOSTNAME:8080/ontimegcms/admin>

ユーザー名 : admin
パスワード : <インストール時に指定したパスワード>

ユーザー名とパスワードを入力してログインします。

- パスワードの変更については以下のFAQをご参照ください。
 - <https://www3.ontimesuite.jp/change-pw/>

アクティベーションキーの登録



OnTime Admin Center interface showing the 'EDIT LICENSE' button highlighted in the top navigation bar. The main content area displays a table of services with columns for Application, Status, and Last Status Change.

Application	Status	Last Status Change
Application:	RUNNING	Mon Mar 02 14:51:14 JST 2020
Subscription for calendar changes:	STOPPED	Mon Mar 02 14:51:19 JST 2020
Connection Services		
SQL Database Connection:	RUNNING	Mon Mar 02 14:51:14 JST 2020
Active Exchange Domains:	0 OUT OF 0 RUNNING	
Scheduled Services		
Directory Synchronisation:	SCHEDULED TO RUN 02:00	Mon Mar 02 10:49:02 JST 2020
User & Group Synchronisation:	SCHEDULED TO RUN 02:00	Mon Mar 02 10:49:03 JST 2020
Photo Synchronisation:	SCHEDULED TO RUN 02:00	Mon Mar 02 10:49:32 JST 2020
Permission Synchronisation:	SCHEDULED TO RUN 02:00	Mon Mar 02 10:49:49 JST 2020
Event Synchronisation:	SCHEDULED TO RUN TOMORROW 02:00	Mon Mar 02 10:49:35 JST 2020
Pollarity Services		
Application:	RUNNING	
SQL Database Connection:	OK	
Catering Services		

OnTime 管理センターが開いたら
左上の「EDIT LICENSE」をクリックします。

- アクティベーションキーは以下から入手可能です。
 - OnTime 正規販売パートナーからご購入
 - OnTime Group Calendar Direct Shop からご購入
<https://ontimesuite.jp/priccalculator/>
 - OnTime Group Calendar Direct Shop から60日間のトライアルキーの入手
 - トライアルキー有効期限はダウンロードした日からの60日となります。再発行はできませんのでご注意ください。手順やテスト計画を十分に検討した上でお申し込みください。
<https://ontimesuite.jp/forms/try/>

アクティベーションキーの入力



The screenshot shows the OnTime Admin interface. A modal dialog titled "License Key" is open, with a text area containing a long alphanumeric string. The "SAVE" button is highlighted with a yellow box. The background interface shows various service status sections like Application, Connection Services, Scheduled Services, and Pollarity Services.

入手したアクティベーションキーをコピーして貼り付けます。

「SAVE」をクリックします。

サブスクリプションのアクティベーション



Application のSTOPをクリック。

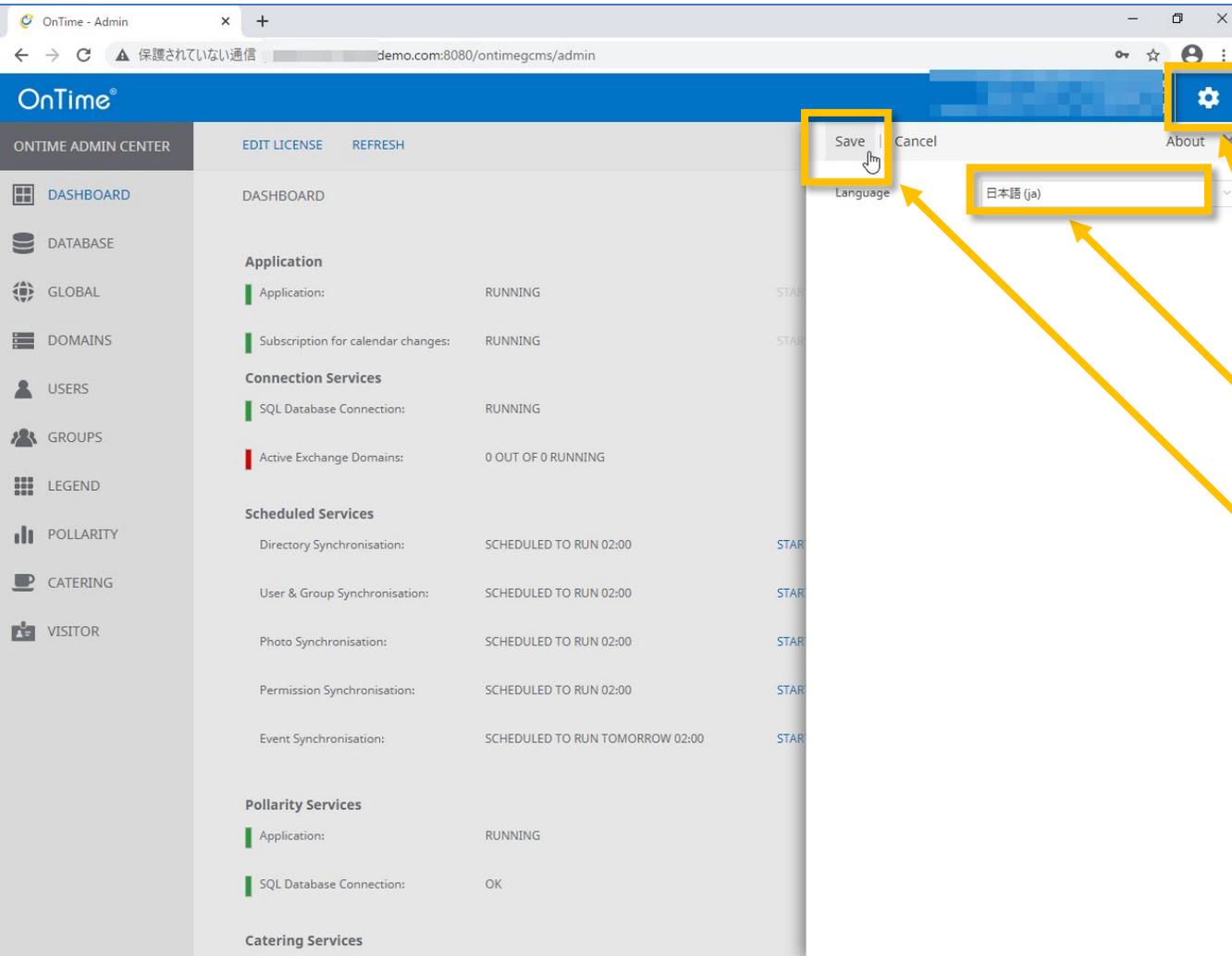
Application のSTARTをクリック。

F5やリロードでライセンス表示を確認。

Subscription・・・のSTARTをクリック。

Subscription・・・がグリーンであることを確認。

UI を日本語に切り替えます



- OnTime 管理センターの UI は英語と日本語に対応しています。
- 以後の操作は日本語画面で行います。

画面の右上の歯車アイコンをクリックします。

Language の選択を日本語に変更します。

「SAVE」をクリックします。

- 画面がリロードされ日本語の UI に変更されます。

引き続き各種設定を行ってください



OnTime Admin interface showing system status. The '接続状況' (Connection Status) section is highlighted with a yellow box. The 'Exchange ドメイン' (Exchange Domain) status is shown as '0 / 0 RUNNING' with a red indicator. A yellow arrow points from the text on the right to this red indicator.

システム状況	ステータス	操作	最終実行日時
アプリケーション:	RUNNING	実行 停止	Wed Jan 20 11:04:00 JST 2021
有効なライセンスの確認:	RUNNING	実行 停止	Wed Jan 20 11:04:15 JST 2021
接続状況			
SQL DB 接続状況:	RUNNING		最終実行日時: Wed Jan 20 11:04:00 JST 2021
Exchange ドメイン:	0 / 0 RUNNING		
同期スケジュール			
Directory Synchronisation:	SCHEDULED TO RUN 02:00	実行	最終実行日時: Wed Jan 20 10:56:49 JST 2021
User & Group Synchronisation:	SCHEDULED TO RUN 02:00	実行	最終実行日時: Wed Jan 20 10:56:49 JST 2021
Photo Synchronisation:	SCHEDULED TO RUN 02:00	実行	最終実行日時: Wed Jan 20 10:56:49 JST 2021
Permission Synchronisation:	SCHEDULED TO RUN 02:00	実行	最終実行日時: Wed Jan 20 10:56:49 JST 2021
Event Synchronisation:	SCHEDULED TO RUN TOMORROW 02:00	実行	最終実行日時: Wed Jan 20 10:56:49 JST 2021
日程調整			
アプリケーション:	RUNNING		
SQL DB 接続状況:	OK		
ケータリング			

- 画面がリロードされるとまだ設定していないExchange ドメインだけが赤色でその他が緑色であればインストールとアクティベーションが完了です。
- 引き続き他の各種設定は「**設定マニュアル**」に基づいて行ってください。
- OnTimeサーバーは証明書を利用したhttps接続を設定できます。
なお、OnTime for Teamsを利用する場合は証明書を利用したhttps接続は必須です。
設定方法は下のリンクからご確認ください。
<https://www3.ontimesuite.jp/ssl-cert2/>
- 新バージョン毎の主な新しい機能はリリースノートに記載しています。
<https://www3.ontimesuite.jp/category/release/>